

## 船形山 山行報告

1. 目的地：船形山（標高 1500m）
2. 日程：2008年10月25日（土）～26日（日）
3. 天候：1日目 曇り 2日目 曇り
4. 参加者：7名（男性2名・女性5名）
5. 参加費：11,100円（ガソリン代・高速代・運転手謝礼・食料費・入浴料・事故プール金等）
6. コースタイム：1日目 大滝キャンプ場～三光の宮～升沢小屋～船形山頂上～升沢小屋（泊）  
11:50 発 13:45～14:00 15:00～15:20 16:10  
2日目 升沢小屋～三光の宮～大滝キャンプ場  
8:00 発 9:25 着
7. レベル：標高差約460m レベルB（登山初級）

8. 山行状況：大和町から大滝キャンプ場へ行く林道が途中で進入禁止となっていた。とにかく車で行けるところまで行って、そこから歩こうと思って行ってみたら、大滝キャンプ場まで行けてしまいました。キノコ採りの車がいっぱい入っていました。ここで食料など共同の荷物を分担して、いざ出発。ブナ林の中のゆるい坂道をゆっくりと登る。今夜泊まる小屋まで約2時間なので全員気楽なものです。このあたりは木の葉が既に落ちていて紅葉もほとんど終わっていましたが、それでも所々に残る紅葉が目を楽しませてくれます。キノコがありそうですが見つかりません。1時間ほどで三光の宮に着く。太陽、月、星の三光を彫った石碑が建っているだけで、宮というほどの歴史は感じられません。ここからは、山腹の紅葉や、船形山の頂上が眺められます。三光の宮からはほとんど平らな道を歩いて升沢小屋に到着。今日は時期外れだし誰もいないだろうと思っていたら、1人だけ先着がいました。仙台からきたという地元の方でした。この小屋はまだ新しく、無人なのにバイオトイレもついているという立派なものです。近くに水場もあります。定員は10人位でしょうか、我々7人が入るとほぼ満員です。早めに着いたので、今日のうちに頂上へ登ってしまおうということになり、防寒着と水と菓子などを持って山頂へ向かう。ここからの登りは沢の中なので石がゴロゴロしていて歩きにくい。それでも1時間ほどで船形山頂上に到着。東北の山々や松島が眺められるのを期待して来たのですが、今日は時々ガスがかかるような天気で、遠くは見えませんでした。寒いので頂上の避難小屋に入って、しばし休憩。この小屋もトイレ付きの立派なものでした。ただし水場はない。皆さん気に入ったようで、今度くるときはこの小屋に泊まって夕日と朝日を見ようという話になりました。頂上に登ってしまったので、残るは小屋での夕食の楽しみだけ。歩きにくい道をゆっくり下って小屋に戻る。各自寝る場所を確保してから、登頂祝いの乾杯をして、夕食の支度にかかる。夕食はTさんの献立による鍋料理でした。これがもう何ともいえず、うまかったことよ。1泊2食付の山小屋ではとても味わえない代物でした。おかげで酒もはかどりました。船形山はほんといい山です。このくだりは5月の五葉山の報告と全く同じです。五葉山のときと同じように楽しかったものですから、悪しからず。

ところで、小屋に先着の方が1人いました。この方は頂上に行くつもりはなく、この小屋に泊まりにきただけということでした。我々はこの方になるべく迷惑をかけないようにと気配りをしたつもりですが、いつものことながらつつい賑やかになってしまいました。しかし、この方は文句をいうこともなく、終始我々の楽しい語らいを笑顔で見えてくれました。

9 . 写真



三光の宮



頂上へ向かう沢の中の登り



船形山頂上



頂上から下り始める



升沢小屋の中



升沢小屋の前で全員集合